

コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当り1.88人とやや増加しています。安芸区5.5人、安佐北区3.7人、西区3.0人となっています。

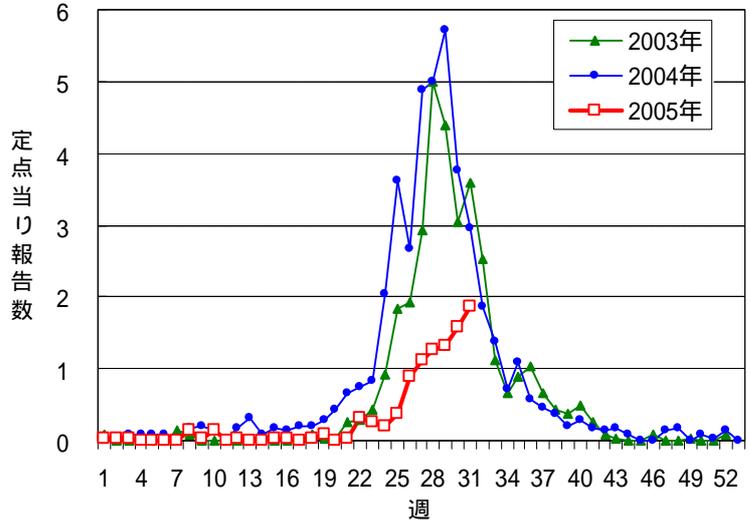
2. 手足口病

定点当り5.54人と減少しています。4週続けて減少していますが、依然として例年に比べて報告数の多い状態が続いています。安芸区20.0人、佐伯区6.3人、西区6.0人、中区5.0人と特に多く、東区4.3人、南区4.0人、安佐北区3.3人となっています。

3. 感染性胃腸炎

定点当り4.21人とやや増加しています。2週続けて増加しており、例年同時期と比べてやや報告数が多くなっています。安佐北区10.0人となっています。

ヘルパンギーナ



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	10	0.42	0.54		流行性耳下腺炎	74	3.08	0.83	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	0.46	0.67		RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	101	4.21	2.31		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	19	0.79	0.96		流行性角結膜炎	2	0.25	2.05	
手足口病	133	5.54	2.33		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	14	0.58	0.33		無菌性髄膜炎	7	1.00	0.72	
突発性麻疹	11	0.46	0.94		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	45	1.88	2.61						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	後天性免疫不全症候群	1	9	男性(20歳代)・無症候性キャリア

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	-	13	27	134	42	501	12	21	1	-	27	-	83	-	1	4	-	2	1	-	-
	第28週	-	16	19	100	25	452	17	20	1	-	30	-	71	-	-	-	-	5	-	-	-
	第29週	-	6	10	71	32	287	8	19	-	-	32	-	70	-	-	3	-	4	-	-	-
	第30週	-	9	9	90	23	237	7	25	4	-	38	-	103	-	1	9	-	3	1	-	-
	第31週	-	10	11	101	19	133	14	11	1	-	45	-	74	-	-	2	-	7	-	-	-
定点当り	広島市	-	0.54	1.13	5.58	1.75	20.88	0.50	0.88	0.04	-	1.13	-	3.46	-	0.13	0.50	-	0.29	0.14	-	-
	第28週	-	0.67	0.79	4.17	1.04	18.83	0.71	0.83	0.04	-	1.25	-	2.96	-	-	-	-	0.71	-	-	-
	第29週	-	0.25	0.42	2.96	1.33	11.96	0.33	0.79	-	-	1.33	-	2.92	-	-	0.38	-	0.57	-	-	-
	第30週	-	0.38	0.38	3.75	0.96	9.88	0.29	1.04	0.17	-	1.58	-	4.29	-	0.13	1.13	-	0.43	0.14	-	-
	第31週	-	0.42	0.46	4.21	0.79	5.54	0.58	0.46	0.04	-	1.88	-	3.08	-	-	0.25	-	1.00	-	-	-
全国	第29週	0.17	0.56	0.74	2.52	1.26	1.98	0.32	0.71	0.01	0.01	4.51	-	1.46	-	0.03	1.06	0.01	0.06	0.30	0.01	-
	第30週	0.12	0.54	0.68	2.47	0.96	1.63	0.29	0.77	0.01	0.01	3.46	0.01	1.64	-	0.02	1.20	-	0.07	0.23	0.01	-

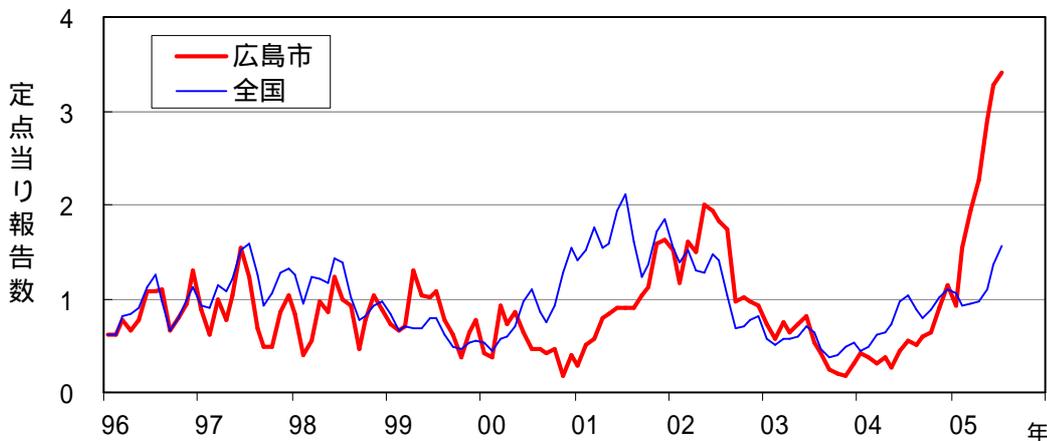
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の月別定点当り報告数(1週当り平均)の推移

(1996年1月～2005年7月)



流行性耳下腺炎は、今年になってから増加が続いており、7月の定点当り報告数の週平均値は3.41人となっています。

また、今年になって、11名の患者からムンプスウイルスが検出されています。

いずれの患者も臨床診断名あるいは臨床症状に髄膜炎(嘔吐・嘔気を含む)の記載があり、流行性耳下腺炎に無菌性髄膜炎を併発していることが考えられます。

2005年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
定点当り報告数 (人/定点/週)	0.93	1.54	1.92	2.26	2.91	3.28	3.41

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第31週(8月1日～8月7日)